

3 市民・企業の意識改革

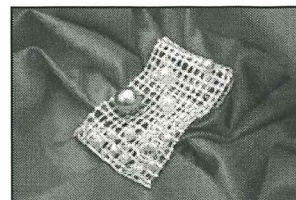
① 目的

- ◆ これまで基幹産業として、この圏域を支えてきた水産業の不振・低迷を正しく自覚・認識することで、市民・企業が一体となって、海洋環境の保全・整備を行います。そして、宇和島に対する誇りをもって対外的に個々がPRできるよう意識改革をします。



② 主要施策

- ◆ 環境に対する意識改革
 - ・ 海洋環境保全に向けた下水道設備・衛生設備の完備。
 - ・ 海洋環境負担金の導入。
 - ・ 学術研究機関・行政との連携による環境保全対策。
- ◆ 水産業に対する意識改革
 - ・ 地域特産品の地産地消や、認知向上を目的とした朝市・イベント・等の開催、公立学校給食への利用促進。
 - ・ 地域特産品のブランド化の推進。
- ◆ 対外PRに対する意識改革
 - ・ メディア活用による対外的PR活動の普及・促進。
 - ・ アンテナショップ等、情報発信基地の設置・活用。
 - ・ 海洋環境整備、水産業理解による個々のPR活動の促進。



③ 予想される効果

- ◆ 海洋・水産と市民生活・企業活動との調和
 - ・ **海洋環境美化活動による対外PR**ができます。
(市民全員の「海の環境保全」に関する意識が向上し、宇和島が「海」を大切にしていることを対外にPRでき、ひいては宇和海産の水産物が安全・良質であるという信頼感をPRできます。)
 - ・ 環境保全・ブランド化等により、「強い商品」を創り出し、他との差別化を計ります。
 - ・ 市民一人一人が目的意識を持ち、共通利益を理解することができます。
 - ・ 地域をよく知ること、「誇れる地元」・「自慢できる商品」の意識向上ができます。
 - ・ 全国に広く認知されることによる交流人口の増加、対外経済活動が促進できます。
 - ・ 市民の**宇和島への誇り、地域愛**を育みます。